

文学部 哲学科

**2023年度Web父母懇談会**



## 教員紹介

---

---

氏名	フリガナ	身分	専門
河本 英夫	カワモト ヒデオ	教授	科学論、システム論
中里 巧	ナカザト サトシ	教授	近世および現代哲学
相楽 勉	サガラ ツトム	教授	現代ドイツ哲学、比較思想
永井 晋	ナガイ シン	教授	現象学、ユダヤ神秘主義
稲垣 諭	イナガキ サトシ	教授	現象学、リハビリテーション・精神医学 ・環境デザインの哲学
松浦 和也	マツウラ カズヤ	教授	古代哲学
三重野 清顕	ミエノ キョアキ	教授	ドイツ古典哲学
今井 悠介	イマイ ユウスケ	准教授	近世フランス哲学
津田 葉里	ツダ シオリ	助教	近代哲学、美学

# 「哲学」という学問

---

## 特徴

学際的視点

ココロとモノの  
統合

合理的思考

最先端と  
普遍的価値

## 哲学史

古代ギリシア  
以来の問い

哲学的諸問  
題の素材

思考タイプの  
抽出

## 哲学理論

普遍的に共  
通する問い

現代社会の  
課題解決

将来の問題  
提起とその解  
決可能性

## 「大学」の授業

---

---

### ■ 時間割の作成

- 自分で主体的に「時間割」を作成
- 自分で身につけるべき知識を判断

### ■ 授業スタイル

- 「**講義形式 (Lecture)**」  
教員による解説が中心，知識や情報の獲得が主目的
- 「**演習形式 (Seminar)**」  
学生による発表が中心，調査・分析能力の研磨が主目的

## 哲学科の「専門科目」の授業

- 必修科目

	必修科目
1年次	「論理学概論」「哲学基礎概説」「西洋哲学史概説Ⅰ」
2年次	「西洋哲学史概説Ⅱ」
3年次	「哲学概論」「倫理学概論」

- 選択必修科目

	選択必修科目
1年次	「哲学演習Ⅰ」
2年次	「哲学演習Ⅱ（ドイツ語 or フランス語）」「問題群演習」
3年次	「哲学演習群」（古代，中世近世，近世，現代，美学美術史） 「哲学特殊講義群」（古代，近世，現代，日本）

- 選択科目

# 語学教育について

---

---

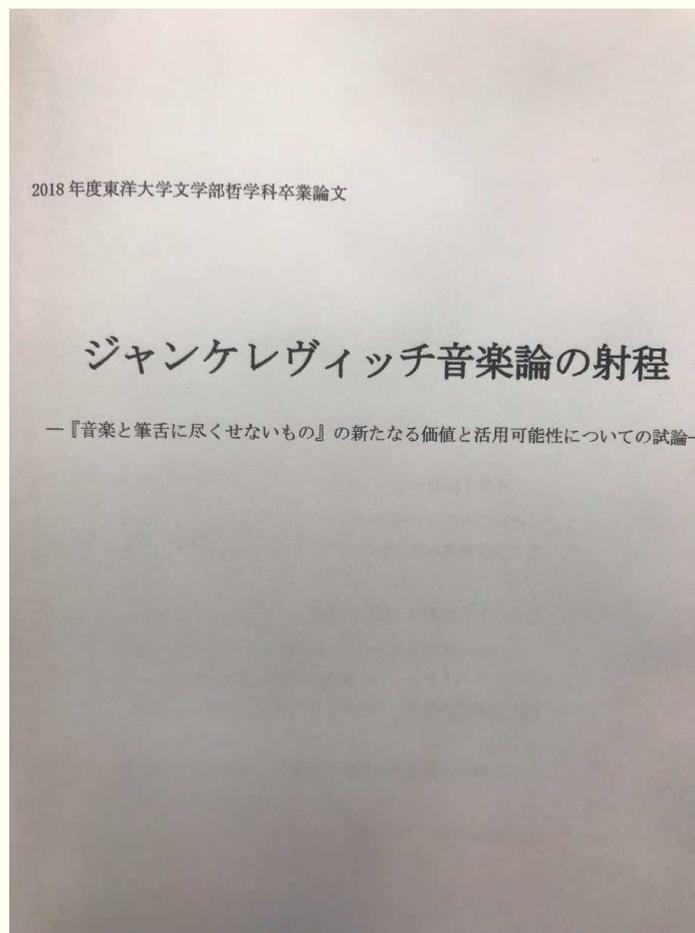
## 必修選択科目

- 「英語」「ドイツ語」「フランス語」の3カ国語のうちから、少なくとも <2カ国語> を選択
- 「哲学演習群」を履修するさいに、実質的に必要となる
- 最終的には、「卒業論文」の作成に繋げることができるようになることが理想

## 選択科目

- 「古代ギリシア語」と「ラテン語」を履修することが可能
- 古代哲学，中世哲学，近世哲学の哲学者のテキストを原典で読解するためには必要となる

# 卒業論文について（優秀賞を取った論文の目次です）



目次	
序論	1
第1章 ジャンケレヴィッチの音楽論	
第1節 ジャンケレヴィッチと音楽	2
第2節 『音楽と筆舌に尽くせないもの』の要約	5
第2章 音楽論が顕にしたもの——ベルクソンとの類似と差異	
第1節 聴覚モデルの哲学——ベルクソンの聴覚モデルの拡張として	10
第2節 非視覚と聴覚性の両立——ベルクソンとの差別化として	12
第3章 音楽論に現れるもの——「聴覚的空間」の表現とその意義	
第1節 「聴覚的空間」——マクルーハニズムを手がかりに	17
第2節 「聴覚的空間」を表現する意義とは——マクルーハンを超えて	21
第3節 「聴覚的空間」を体感させるもの——音楽の再現と「解らなさ」	23
第4章 音楽論で表せるもの——身体表現論への応用と展開	
第1節 音楽と身体の共通点	25
第2節 「筆舌に尽くせないもの」と「無表情の《表情豊かな》」	27
第3節 「表現しないという表現」	29
結論	31
註	32
参考文献	38
巻末付録『音楽と筆舌に尽くせないもの——ジャンケレヴィッチと音楽—』	41

# 卒業論文について

2019 年度東洋大学文学部哲学科卒業論文

## 反出生主義の生命倫理的意義

——生の悪さの縮減に向けて——

### 目次

はじめに .....	
<b>第1章 ベネターの主張とその背景 .....</b>	
1.1 自殺の非推奨 .....	
1.2 非同一性問題 .....	
1.3 快楽と苦痛の非対称性 .....	
<b>第2章 ベネター批判に抗って .....</b>	
2.1 存在と非存在を比較すること .....	
2.2 非対称性とベネターの現実認識 .....	
2.3 比較の順番と量的功利主義をめぐる .....	
2.4 小括 .....	
<b>第3章 反出生主義とジェンダー .....</b>	
3.1 産む性とばらまく性 .....	
3.2 無垢な<子ども>は偶像なのか .....	
3.3 小括 .....	
おわりにかえて .....	
参考文献 .....	

## コース制について

---

---

- 大学で哲学を学び始めると、その領域の広さにとまどい、何を学びたいのかを見失ったり、学びたいことが多すぎて的を絞れなかったりするケースがあります。
- そこで本学科ではあらかじめコース制を敷き、目的意識をもって学習するサポートをしています。設定されているコースは、「自然環境哲学コース」・「身体表現哲学コース」・「芸術哲学コース」・「宗教・歴史哲学コース」・「死生学コース」など現代の人々の関心に沿ったものと、古典的な文献研究を行う「哲学基礎専門コース」の6コースです。

# 自然環境哲学コース

---

□テーマ主体

□現代の自然や環境にかんする問題意識を高める

□持続可能な社会を構想できる十全な能力を養う



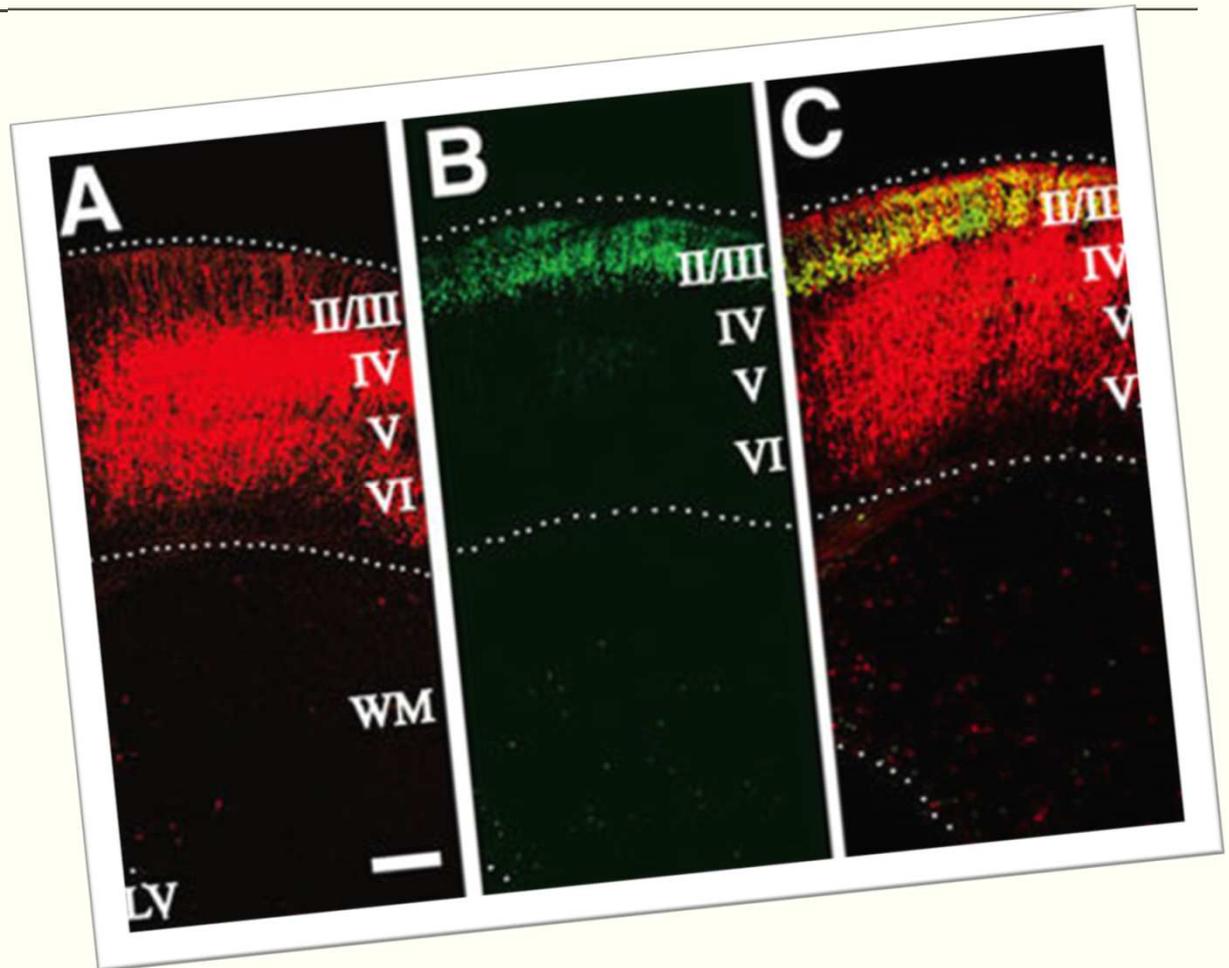
# 身体表現哲学コース

---

□テーマ主体

□最新の認知科学・脳神経科学・現象学を利用する

□社会の実践的現場において要請される能力を養う



# 芸術哲学コース

---

- テーマ主体
- 芸術という幅広い領域をとおして感性や情操を養う
- 現代社会が要請する心の豊かさに寄与する人間を養う



# 宗教・歴史哲学コース

---

## □テーマ主体

□神話・宗教・歴史をと  
おして，世界観や歴  
史観など文化や文明  
の伝統を理解する

□現代において新たな  
パースペクティブを見い  
だしうる能力を養う



# 死生学コース

---

## □テーマ主体

□自殺・老い・がん死など今日の問題である死生観を対象とする

□家族・ケア・ボランティアなどの事象をとおして学ぶ

□対人関係能力を豊かにもつ人間を養う



# 哲学基礎専門コース

- 古典的な西洋哲学の文献研究が中心
- 従来の哲学・倫理学・論理学などを体系的に学ぶ
- テクストを正確に読解し分析することを通じて、哲学者たちの思想に寄り添いながら、相手の立場に立つ姿勢を涵養する



## 資格と進路

### 在学時に取得可能な資格

- 中学教諭1種免許状（社会）
- 高等学校教諭1種免許状（地理歴史・公民）
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学芸員
- 社会教育主事（任用）
- 社会福祉主事（任用）

### 卒業後の主な進路

- 中学／高校の教員（地理歴史・公民／社会）
- 学芸員
- 図書館司書・学校図書館司書教諭
- 公務員（行政）
- 出版・マスメディア・広告
- 語学関連／出版関連
- ファッション業界／デザイン業界
- 多分野・多業種にわたる